

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
8 年 6 月 22 日	
明石市長 殿	
提出者 住 所 兵庫県明石市大久保町八木740 氏 名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名) コベルコ建機株式会社 大久保事業所長 山下 俊治 電話番号 078-936-1331	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	【28J4203011】コベルコ建機株式会社 大久保事業所
事業場の所在地	〒674-0063 兵庫県明石市大久保町八木740
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	【2621】建設機械製造業
② 事業の規模	売上高 4,598,168万円(令和7年度実績)
③ 従業員数	1,124名【派遣・請負社印含む】(令和7年4月時点)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	図1.のとおり

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

図2.のとおり。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度(令和7年度)実績】

産業廃棄物の種類

別紙1のとおり

排出量

t

(これまでに実施した取組)

木製パレットの削減にあたり、荷姿改善、パレット循環利用を推進している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

別紙1のとおり

排出量

t

(今後実施する予定の取組)

前年度に引続き木製パレット削減を目標として、荷姿改善、パレット循環利用活動を推進する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

工程毎に発生する廃プラスチック類、塗料カス、床ゴミ、木屑等を分別保管している。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

前年度に引続き工程毎に発生する廃プラスチック類、塗料カス、床ゴミ、木屑等を分別保管していく。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(令和7年度)実績】				
	産業廃棄物の種類			種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t		t
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目 標】				
	産業廃棄物の種類			種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t		t
	(今後実施する予定の取組)				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(令和7年度)実績】				
	産業廃棄物の種類			種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t		t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t		t
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目 標】				
	産業廃棄物の種類			種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t		t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t		t
	(今後実施する予定の取組)				

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(令和7年度)実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目 標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和7年度)実績】			
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量		t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙1のとおり		t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
	環境リスクを抑える為、収集運搬及び処分委託業者の選定は委託許可証に記載している優良認定業者を優先している。また処理業者への視察も適宜実施し安全・環境面や処理方法等の確認も行っている。			

(第5面)

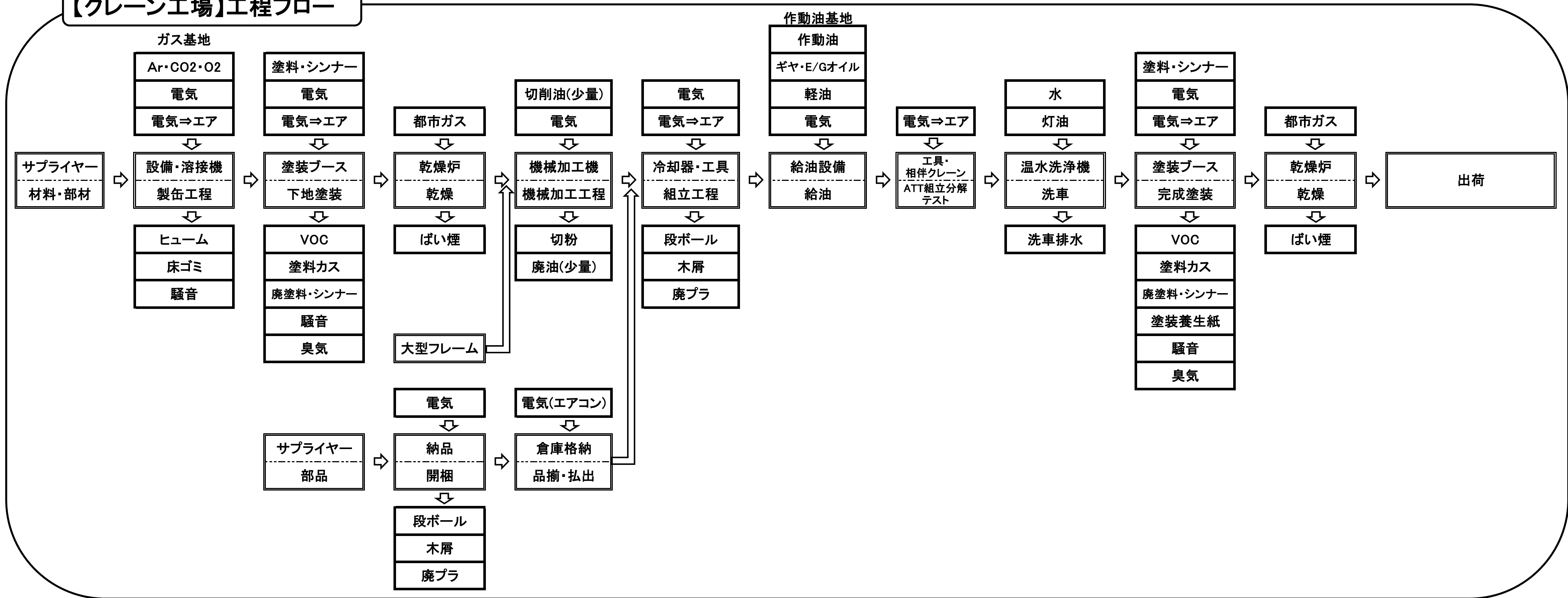
②計画	【目 標】			
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量	t		t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t		t
	再生利用業者への 処理委託量	+		t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t		t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量	t		t
	(今後実施する予定の取組)			
	前年度に引続き時間が許す限り産業廃棄物処理業者への視察を実施する。			
※事務処理欄				

備考

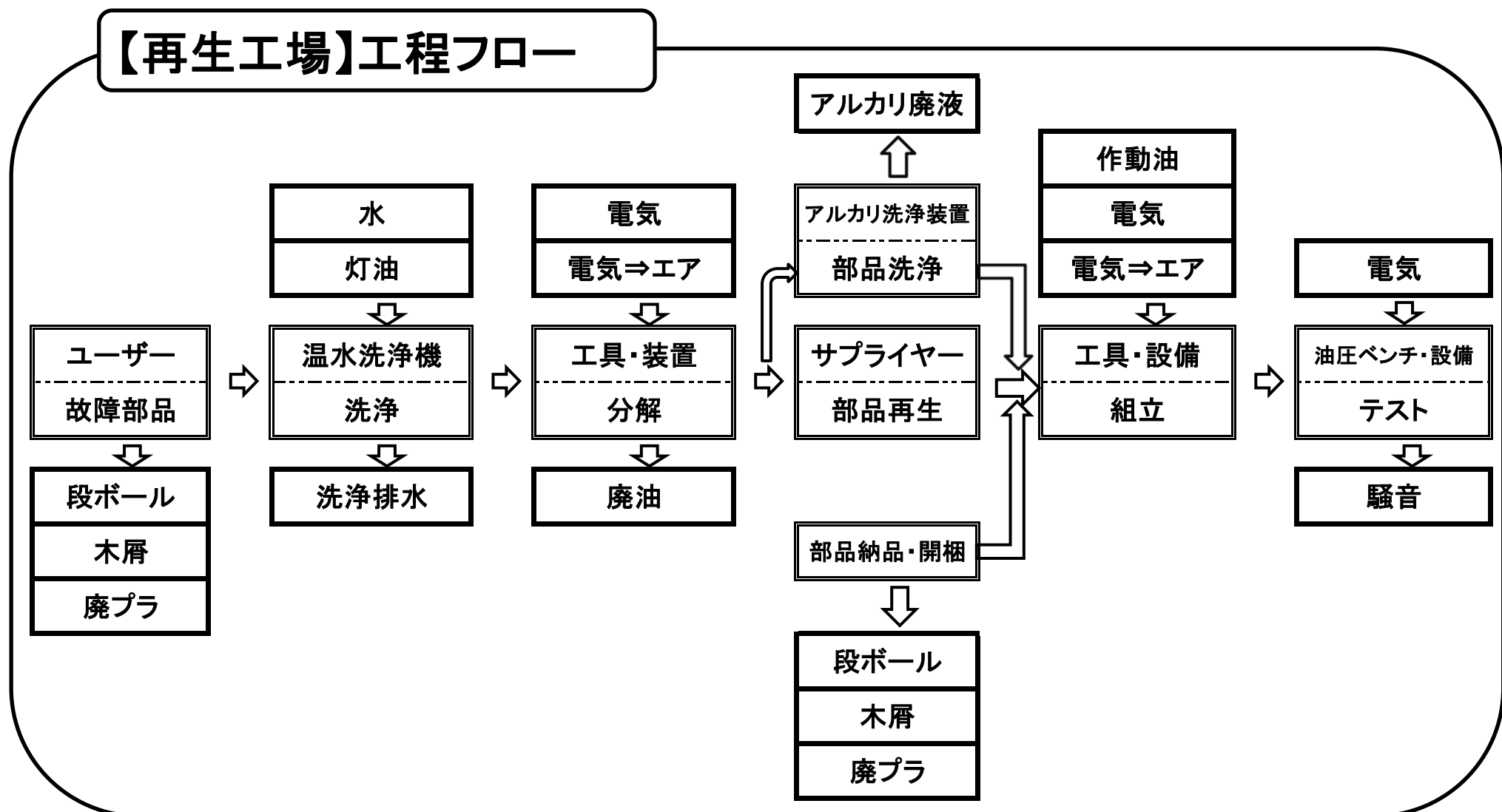
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1, 000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

図1.大久保事業所工程フロー

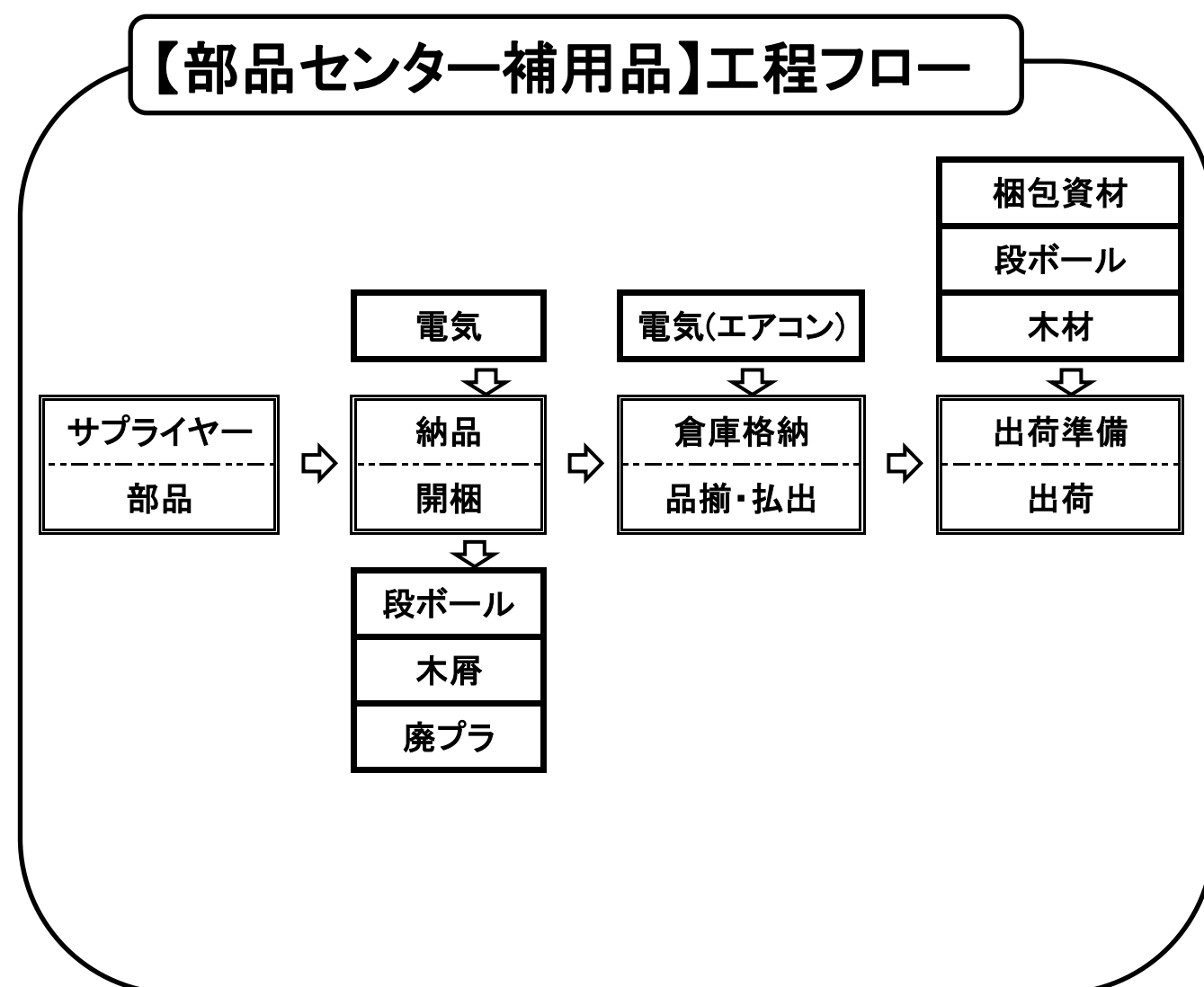
【クレーン工場】工程フロー



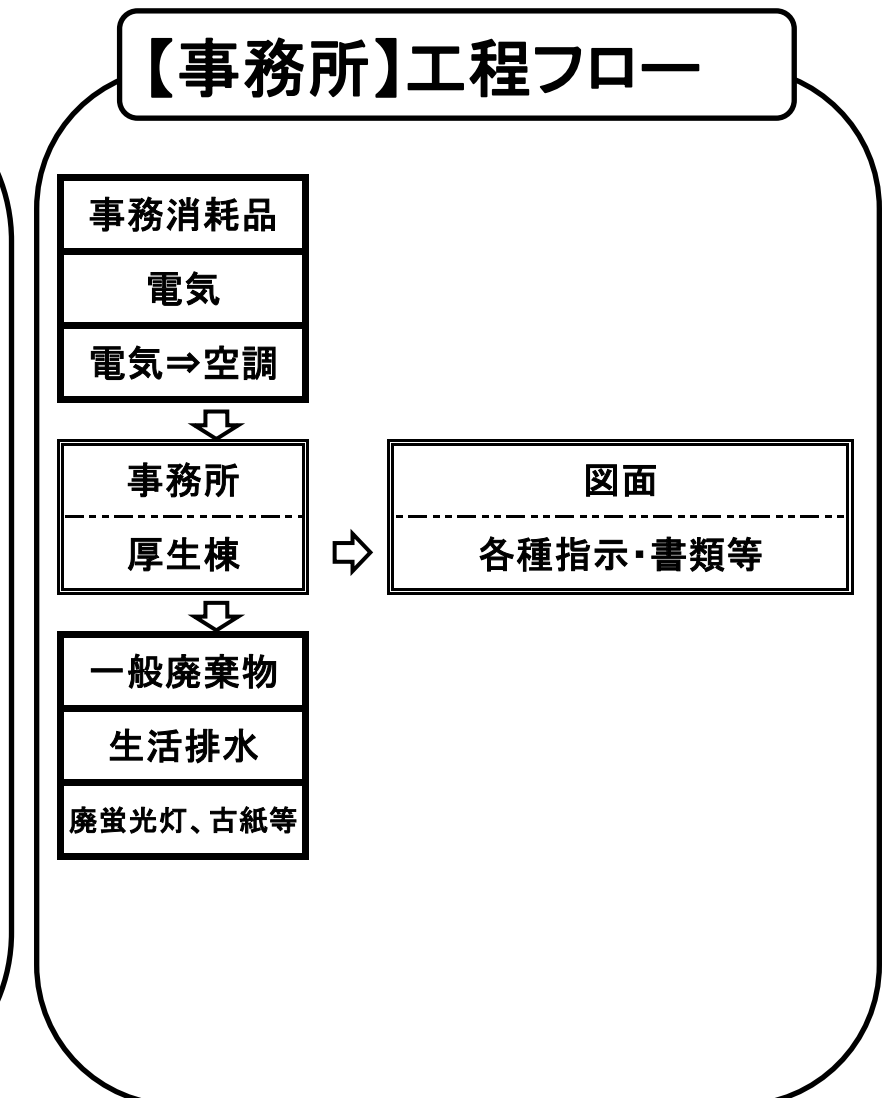
【再生工場】工程フロー

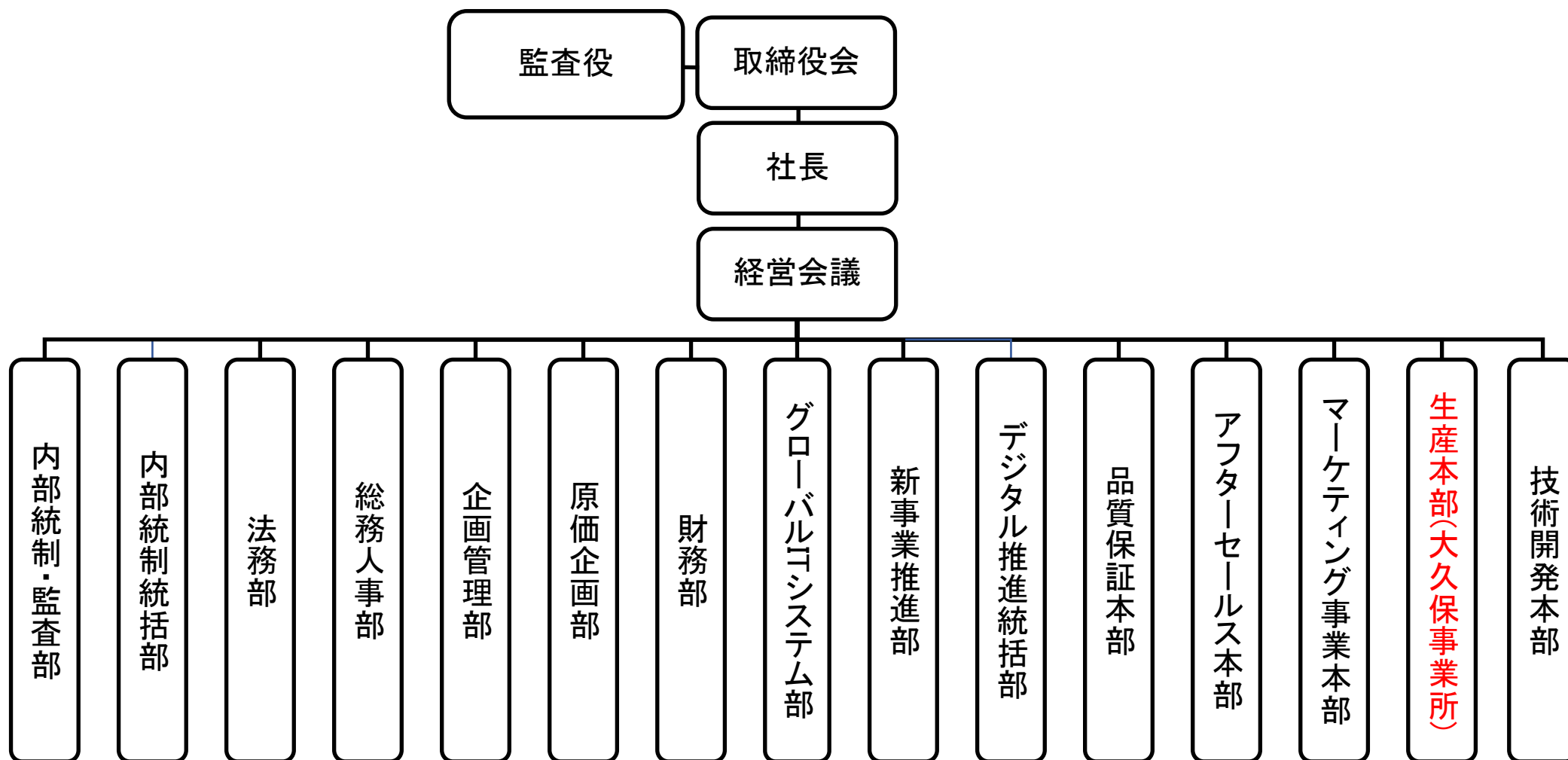


【部品センター補用品】工程フロー



【事務所】工程フロー





別紙1（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書）

現状：前年度（令和7年度）実績量

計画：今年度（令和8年度）計画量

単位:トン／年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
0100燃え殻																				
0200汚泥	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	2	0	0	0	0
0211下水汚泥	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	3	0.03	0.03	0	0	0	0
0300廃油	52	55	0	0	0	0	0	0	0	0	52	55	52	55	52	55	0	0	0	0
0400廃酸																				
0500廃アルカリ	378	400	0	0	0	0	0	0	0	0	378	400	378	400	378	400	0	0	0	0
0600廃プラスチック類	217	230	0	0	0	0	0	0	0	0	217	230	216	229	186	196	0	0	0	0
0700紙くず																				
0800木くず	376	398	0	0	0	0	0	0	0	0	376	398	348	368	376	398	0	0	0	0
0900繊維くず																				
1000動植物性残渣																				
1100ゴムくず																				
1200金属くず	39	42	0	0	0	0	0	0	0	0	39	42	39	42	39	42	0	0	0	0
1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.7	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0	0	0	0
1400鉱さい																				
1500がれき類																				
1600動物のふん尿																				
1700動物の死体																				
1800ばいじん																				
2200管理型混合廃棄物	12	13	0	0	0	0	0	0	0	0	12	13	0	0	0	0	0	0	0	0
2430廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物)																				
2510電池類	0.4	0.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0	0	0	0
合計	1,080	1,143	0	0	0	0	0	0	0	0	1,080	1,143	1,039	1,099	1,034	1,094	0	0	0	0